

※取り付け前に、本製品の通電確認を行なってください。取付方法の**4**と**5**を参照し、アクセサリ電源ソケットにカーブラグ部を差し込んでください。ソケット部用・USBポート用通電モニターランプが点灯します。通電確認後、エンジンを切り、取り付けを開始してください。

車両への取付・取りはずし方法

取付方法 ※必ず安全な場所に停車して行なってください。

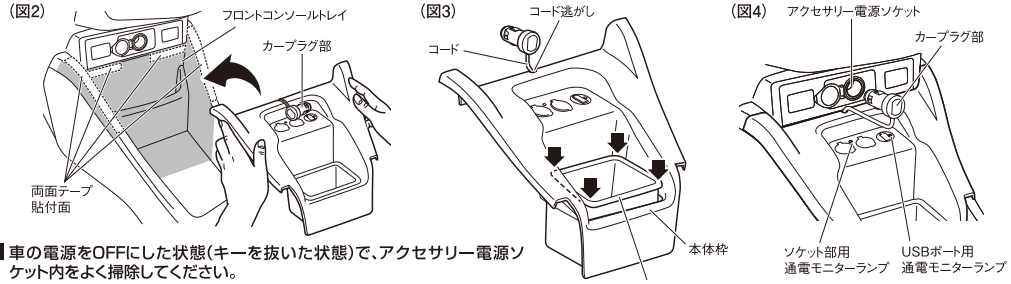
1 本製品をフロントコンソールトレイにあてがい、取付場所を確認してください。

注意 ・コードをコード逃がし(図3)から逃がし、取付場所を確認してください。

2 取付面(図2)の汚れ・ゴミ・油・保護剤等を市販のクリーナー等できれいに拭き取ります。(脱脂作業)

3 カーブラグ部をコードと一緒に本体枠の上に出してください(図2)。コードはコード逃がしから出すようにし、カーブラグ部やコードをフロントコンソールトレイと本体枠との間に挟まないよう注意してください(図3)。本製品裏側にある両面テープ剥離紙(4箇所)をはがし(図1)、一度でしっかりと貼り付けます(図2)。

注意 ・コードを無理に引っばったり、挟まって断線しないように取り付けてください。
 ・取付面の汚れ・ゴミ・油・保護剤等をきれいに拭き取ってから貼り付けてください。汚れた面に貼り付けると脱落の原因となります。
 ・両面テープの粘着面に手を触れたり、ホコリ等を付けたらしないよう注意してください。粘着力が弱くなり、脱落の原因となります。
 ・両面テープの貼り直しはおやめください。脱落の原因となります。
 ・両面テープと取付面の間にすき間があると脱落の原因となります。
 ・両面テープの粘着力は貼り付け後、約24時間で安定します。それまでは強い力を加えたり、本製品を使用することはおやめください。脱落の原因となります。
 ・本製品を取りはずす際は、内装を損なわないよう十分注意してゆっくりと取りはずしてください。粘着剤が残ってしまった場合は、市販のノリはがし剤を使用してください。
 ・取付部分が多少変色したり、取付跡が残った場合があります。
 ・本製品の小物入れ部は掃除できるよう、本体枠からはずすようになっています。取り付けの際にははずれてしまった場合は、小物入れ部(図3)をしっかりはめ込んでください。



4 車の電源をOFFにした状態(キーを抜いた状態)で、アクセサリ電源ソケット内をよく掃除してください。

注意 ・アクセサリ電源ソケット内が汚れていると、接触不良の原因となり、発熱・発火等のおそれがありますので、よく掃除してからカーブラグ部を差し込んでください。

5 カーブラグ部をアクセサリ電源ソケットの奥までしっかりと差し込み(図4)、車のエンジンをかけてください。確実に差し込まれていないと接触不良やカーブラグ部が溶解するおそれがあります。

カーブラグ部の取りはずし方法

・カーブラグ部は落下防止のため、固めの設計になっています。カーブラグ部をアクセサリ電源ソケットから抜く際は、コードを持たずにカーブラグ部を持って、指でアクセサリ電源ソケットを押さえながら徐々に抜いてください。(図5)

注意 ・取りはずす際、カーブラグ部が熱くなっている場合がありますので、十分注意して抜いてください。

ソケット部について

ソケット部の使用方法

・ソケット部用フタを開け、電装品等のカーブラグを差し込んで使用してください。(図6)

注意 ・ソケット部に電装品を接続している時に本製品のソケット部用通電モニターランプが消えた場合は、直ちにソケット部から電装品等のカーブラグを抜いてください。電装品等のカーブラグを抜いた後にソケット部用通電モニターランプが再度点灯した時は、本製品カーブラグ部のヒューズ切れや故障ではなく、電装品のショートや故障等が発生している場合があります。

・電装品等のカーブラグを差し込む前に、ソケット部内側をよく掃除してください。発熱・発火等のおそれがあり、大変危険です。

・急発進・急加速・急ブレーキ・急ハンドル時や、急カーブ・悪路・段差の激しい路上を走行時は、カーブラグとソケット部がゆるく、確実に通電が確保できなくなる場合があります。使用前にカーブラグがソケット部の奥まで差し込まれているか確認してください。(図6)

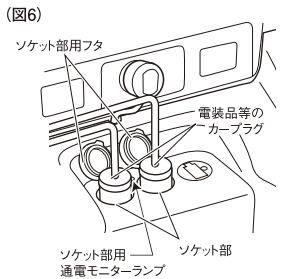
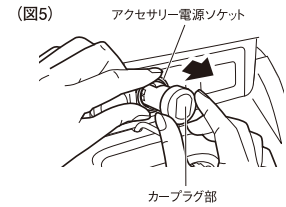
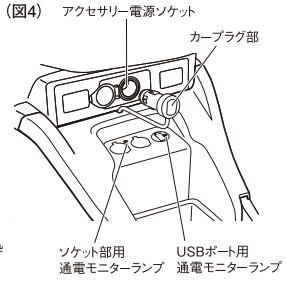
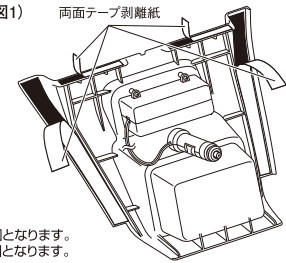
・ソケット部用フタを無理に引っばったりすると破損の原因となりますので注意してください。

・ソケット部を使用しない時は、ホコリやゴミが入るのを防ぐため、ソケット部用フタを閉めてください。

電装品等の取りはずし方法

・ソケット部を押さえながら電装品等のカーブラグをしっかりと持ち、徐々に抜いてください。

注意 ・ソケット部を押さえずに電装品等のカーブラグのみを抜くと、本製品のはがれや破損の原因となります。(図6)
 ・取りはずす際、カーブラグが熱くなっている場合がありますので、十分注意して抜いてください。



USB充電について

接続機器の使用方法

1 USBポート用フタを開けます。(図7)

2 安全に使用するために、接続機器の電源を必ずOFFにします。接続機器側のコネクタを接続してから、本製品のUSBポートにUSBコネクタを接続してください。(図7)

※USBコネクタには差し込み向きがあります。無理矢理差し込みます。コネクタの向きを合わせて差し込んでください。

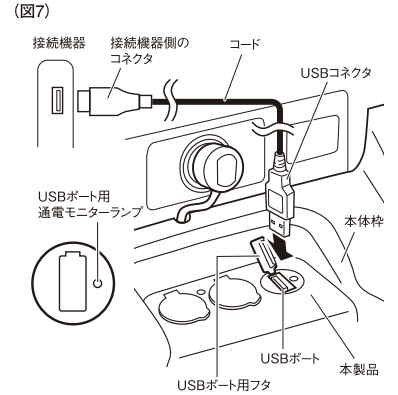
注意 ・USBポートに接続機器を接続している時に本製品のUSBポート用通電モニターランプが消えた場合は、直ちにUSBポートからUSBコネクタを抜いてください。USBコネクタを抜いた後USBポート用通電モニターランプが再度点灯した時は、USBポートのヒューズ切れや故障ではなく、接続機器のショートや故障等が発生している場合があります。
 ・USBコネクタは奥までしっかりと差し込んでください。無理に差し込んだり、引き抜いたり、傾ける等の差し込み不良があると、メモリーデータ破損・消失や、故障の原因となります。
 ・接続機器を接続したままエンジンをかけたり、切ったりしないでください。
 ・USBポート用フタを無理に引っばったりすると破損の原因となりますのでご注意ください。
 ・USBポートを使用しない時は、ホコリやゴミが入るのを防ぐため、USBポート用フタを閉めてください。

接続機器の取りはずし方法

・安全に取りはずすために、接続機器の電源を必ずOFFにします。本製品のUSBポートからUSBコネクタを抜いた後に、接続機器側のコネクタを抜いてください。(図7)

※接続機器によっては充電中に電源をOFFにできない機種があります。

注意 ・USBコネクタを抜く際は、コード(図7)を持たずにUSBコネクタを持ち、本体枠を押さえながらUSBコネクタをまっすぐ引き抜いてください。本体枠を押さえずにUSBコネクタのみを抜き抜くと、本製品のはがれや破損の原因となります。
 ・取りはずす際、USBコネクタが熱くなっている場合がありますので、十分注意して抜いてください。



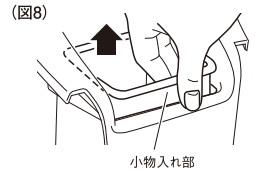
USBで給電・充電する際の注意

●連続使用時間が長い場合や充電条件により、本製品内蔵の保護回路が作動し、充電が止まったり(通電モニターランプが消える)、断続的な動作になる(通電モニターランプが点滅する)場合がありますが、回路を保護するためであり故障ではありません。そのような場合は、一旦接続機器を取りはずし、時間をあけて使用してください。●一部の機種では電池残量ゼロの状態では充電ができない場合があります。純正の充電器(家庭用AC)で5~10分程度充電してから使用してください。●充電時間および充電後の使用時間は、機種・電池/バッテリーの種類・状態・使用環境によって異なります。●充電中に接続機器を使用すると充電時間が長くなります。●機種によっては充電しても接続機器側の充電レベルが表示されない・変化しない・満充電にならない場合があります。●本製品の連続使用は2時間までとさせていただきます。充電される接続機器のバッテリー寿命の低下につながるおそれがあります。また、USBコードの抜き忘れによる接続機器の破損等の原因となります。●接続機器の破損完了表示に関しては、接続機器に付属されている取扱説明書を確認してください。●接続機器の電池パックが古くなっていたり、故障している場合は充電できません。新しい電池/バッテリーの交換をおすすめします。●30分以下の短時間の充電では電池表示レベルが上がりません。●本製品・接続機器・電池パックが高熱になった場合や発煙・ショートがあった場合には直ちに使用をおやめください。

小物入れ部について

・小物入れ部は軟質素材となっており、小物入れ部をはずし、掃除することができます。(図8)

注意 ・収納物を本製品に長時間放置しないでください。
 ・貴重品・重畳物・突起のある物・液体等は収納しないでください。
 ・小物入れ部を無理に引っばったり、鋭利な物で突いたりすると破損の原因となります。
 ・掃除の際は、水を含ませ固く絞った布で拭いてください。ベンジン・シンナー・アルコール・塩素系の溶剤類の使用はおやめください。製品を傷めるおそれがあります。



警告 ご使用前に必ずお読みください。

●運転操作やエアバッグ等の作動に支障のないように使用してください。●走行中、運転者は本製品の操作および接続機器の脱着・操作はしないでください。事故の原因となります。

注意 ご使用前に必ずお読みください。

●用途以外の目的で本製品を使用しないでください。●本製品を強い衝撃を与えないでください。破損・故障の原因となります。●本製品を使用する際には車のバッテリー保護のため必ずエンジンをかけた状態で使用してください。●本製品の脱着、およびアクセサリ電源ソケット・ソケット部内側の掃除の際は、必ず本製品に通電していない状態で行ってください。●本製品のUSBポートやソケット部には、接続機器や電装品等のUSBコネクタ・カーブラグ以外の物(指・金具等)を差し込まないでください。ショートや感電のおそれがあり大変危険です。●誤った使い方を避け、分解・改造・加工・コードの切断は絶対におやめください。破損・故障・感電・ショートの原因となります。そのような場合による本製品・電装品・接続機器等の破損・故障・損害について、当社は一切の責任を負いません。●異臭・発熱・発煙・発火等の症状がみられた場合は、直ちに本製品を取りはずし、使用をおやめください。●確実に通電を確認するために、必ずカーブラグ部を車のアクセサリ電源ソケットに奥まで差し込んでください。使用する電装品等のカーブラグもソケット部の奥まで確実に差し込んでください。また、乗車の度に奥まで差し込まれているか確認してください。確実に差し込まれていない場合は、発熱や発火等のおそれがあり大変危険です。●通電モニターランプの光を直視したり、運転者や車外に光を向けたりしないでください。事故の原因となります。●濡れた手で車の操作や水分がかかるような状況では絶対に使用しないでください。ショートや感電のおそれがあり大変危険です。●タバコの火等、火気を近づけないでください。●カーブラグ部をアクセサリ電源ソケットに差し込んだまま回転させないでください。アクセサリ電源ソケットやカーブラグ部が破損する場合があります。●コードに負荷をかける・根元を回す・引っばる・束ねる・重いものをのせる・強く押す行為をしないでください。発熱・断線の原因となります。●直射日光が当たる場所や車内温度が0℃以下+40℃以上の時は使用しないでください。結露や熱による誤作動や故障、本体の溶解の原因となるおそれがあります。●心臓ペースメーカーや医療機器等を使用している近くでは、本製品を使用しないでください。本製品使用により動作に影響を与えるおそれがあります。●本製品使用により車載機器に電圧障害やノイズが発生したりする場合があります。●本製品取付時や使用時に生じた本製品および電装品・接続機器等による事故・破損・故障について、当社は一切の責任を負いません。●本製品取り付けによる車両の貼付跡や変形について、当社は一切の責任を負いません。●ヒューズ交換時は、必ず指定のヒューズを使用してください。指定外のヒューズを使用すると、発熱・発火等の原因となります。ヒューズはカーブラグ部の中に入っています。(図9)●砂利道等の振動が多い場所やホコリ・湿気が多い場所では使用しないでください。●使用前に本製品が確実に取り付けられているか確認してください。

